

2 目標達成計画

事業所名： 認知症対応型共同生活介護 しらかば園
作成日： 令和3年3月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・運営推進会議を活かした取り組み コロナ過で集合開催は困難な中、近況などは「たより」で伝えているが、委員からの情報や意見・質疑など有意義な委員会となるよう、開催形式の工夫が必要。	諸行事の内容や利用者の顔ぶれが代わってきていることから、近況などを含め情報発信する中で委員からの意見等を取りまとめ、情報共有できるような介護形態への移行を検討し実践した上で、若干でも地域福に貢献できるよう努めたい。	今後も集合開催の対応は厳しいと考えられるため、書面での会議形式に見直し、新年度早々には委員へ報告した上で、書面会議の定期的な実施により、有意義な委員会運営に向けて取り組んで行く。	3 か月
2	20	・馴染みの人や場所との関係継続の支援 これまでのように、面会や外出などにより、馴染みの人・場所などへ対応・支援ができないことから、交流等が継続できるような支援を検討する。	コロナ過の状況を踏まえつつ、利用者の思い出の場所や会いたい人などの希望を確認するなど、自由に交流等ができた時期を思い出していただけるような支援に努めたい。	思い出の場所等への対応は、春から夏にかけての活動しやすい時期に実施する。また、会いたい人、特にもご家族の面会対応は、県外在住ご家族も多い中、オンライン面会の実施を検討して行く。	3 か月
3	35	・災害対策 災害時における地域との協力体制を再確認すること。加えて、過去に体験している避難指示に発令に呼応した指定避難所への誘導体制等に検討が必要。	避難訓練は従前同様の頻度で実施していく方針であるが、最近の地震頻発を受け、避難誘導マニュアルの再点検に努め有事に備えたい。また、自然災害及び火災時の避難路、避難場所等を地域の方々からの協力を受け、安全誘導を支援できるような体制の構築を図る。	警察(駐在所)・消防分署及び地元消防団や民生委員などに避難誘導時の協力を依頼する。また、施設の周辺状況は浸水や土砂災害危険区域外であり、避難場所等について関係機関と(施設から指定場所への移動避難が危険を伴う等)協議していく。	6 か月
4					か月
5					か月